



アコースティックバンド「テノヒラ」のボーカル 愛南町出身の kiku さんがつづるふるさとエッセイ

—あいなん音故地新—

15歳のわたしに

10月のはじめ、城辺中学校で講演をする機会をもらった。話したいことはたくさんあった。自分が中学生やった頃に教えてほしかったこと、知りたかったこと、言ってほしかったこと、聞きたかったこと。やからタイトルは『15歳のわたしに』。

10年足らずしか生きてないのに、将来のことを考えて決断をせまられる。大人になりはじめて心も身体も不安で、一生懸命バランスをとろうと頑張ってる真っ最中なのに。選択肢と情報が溢れるこの時代のこの時期に。考えすぎて抱えすぎて、パンパンに膨らんだ風船を少しでも空気抜きができれば、と思って私の経験や失敗談を話してきた。自分の伝えたかったことは子どもたちなりにちゃんと受け取ってくれたんじゃないかと思う。

大事なことやけん、もう一回言うとかよ。目標や夢がなくてもいい。誰かや何かと比べんでいい。あなたはあなたのタイミングで、あなた自身が本当にやりたいことを、自分の直感や可能性を信じて貫いて。疲れたときは休んで、しんどかったら逃げてもいい。やり遂げるには困難も必ずやってくる。けど、それこそ楽しんで。その方法を自分で見出して。そして、頑張り方を間違えんようにね。

(テノヒラkiku)



御荘文化センター図書室より

“12月の新着図書ピックアップ”の紹介

【しかけ絵本】

『いち・にい・サンタ! [改訂版]』

ひらぎ みつえ (作)

ほるぷ出版 (発行)

いち・にい・サンタ! いち・にい・サンタ! さあみんな、サンタ体操が始まるよ。プレゼントを配りに行く前の準備体操。しかけを動かすと、サンタさんが手を上げ下げしたり、お尻を振ったり、体をぶらぶらさせたり。最後はゴーカイにジャンプ! シンプルなしかけで丈夫な作りのため、繰り返し何度も遊べます。しかけを楽しんだ後は、家族みんなで体操しよう!



【小説】

『怪談 決定版』

ラフカディオ・ハーン (著)

KADOKAWA (発行)

日本の民話や伝説をセツが語り、レフカダ島 (現ギリシャ領) 生まれのハーンが叙情あふれる筆致で語り直す。ハーンの再話文学『怪談』『骨董』『霊の日本』『日本おとぎ話集』『日本雑録』他から、耳なし芳一、おしどり、幽霊淹の伝説、茶わんの中、など全65篇を収録。温かい部屋の中で、朝ドラ「ばけけ」と共に怖い物語をどうぞ。



御荘文化センター図書室では、毎月「御荘文化センター図書室だより」を発行しています。

図書室だよりを通じてピックアップ図書以外の新着図書情報やそのほか新しい情報を皆さまに発信しています。町のホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。



愛南町
ホームページ